

## 平成 30 年度中丹地域医療構想調整会議福知山市部会の進め方について

### 1 想定する福知山市の課題

病病連携、病診連携、医療・介護の連携強化

### 2 背景

#### 【地域医療ビジョンから】

- ▶ 2025 年度に在宅医療で対応する患者は、約 3 割の増加(2013 年度 1,944 → 2,546 人)
- ▶ 急性期から回復期、慢性期への転換が必要

#### 【介護・医療報酬の改定から】

- ▶ 入退院時の医療・介護連携を報酬面で推進
- ▶ 平時からの医療と介護の連携強化を制度的に推進
  - ・ 訪問診療の主治医とケアマネジャーの連携強化
  - ・ 訪問介護事業所等から口腔に関する問題や服薬状況や利用者の状態について、ケアマネから主治医や歯科医師、薬剤師への必要な情報の伝達を義務づける等
- ▶ 介護老人保健施設の従来型を、在宅復帰・在宅療養支援等指標が 20 以上の施設が基本型、基準に満たない施設をその他に区分
- ▶ 介護医療院の創設

### 3 福知山市における医療連携の方向性

「ふくちやま医療・介護・福祉総合ビジョン」に基づいた、医療・介護連携の実現を図る

#### 【医療体制の充実】

- ▶ 高度急性期から回復期、慢性期までの切れ目のない医療連携システムの構築
  - ・ 医療機関の機能分化と連携に基づく、効率的な医療体制の推進
- ▶ 病病連携・病診連携の強化（地域医療連携室の機能強化・ICTを用いた連携）

#### 【地域包括ケアシステムの推進】

- ▶ 在宅医療・介護の多職種連携の更なる効率化に向け、ICTを活用した情報共有を推進
- ▶ 看取り体制の整備

### 4 福知山部会の進め方

- ①全病院（民間病院、精神科病院を含む）6 病院から、各医療機関が担う機能等に対する考え方や今後の方針をシートにまとめ報告
- ②地区医師会、各団体から、医療・介護連携の課題や期待などの意見交換
- ③より一層の連携強化に向けた具体策を検討

5 スケジュール

部会の開催

日時：平成30年10月4日（木） 14時～16時（予定）

場所：京都府中丹西保健所講堂

6 部会メンバー

管内6病院（民間病院、精神科病院を含む）、福知山医師会、丹波歯科医師会、福知山薬剤師会、京都府看護協会、京都府訪問看護ステーション協議会、京都府介護支援専門員会、福知山民間社会福祉施設連絡協議会、京都府介護老人保健施設協議会、社会福祉法人福知山市社会福祉協議会、地域包括支援センター、福知山市